

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月6日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社イーエムシステムズ
コード番号 4820 URL <http://www.emsystems.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 國光 浩三

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役専務 (氏名) 青山 明

四半期報告書提出予定日 平成21年11月13日

TEL 06-6397-1888

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	4,485	1.4	△626	—	△501	—	△535	—
21年3月期第2四半期	4,423	—	△701	—	△678	—	△389	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	△67.36	—
21年3月期第2四半期	△49.03	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第2四半期	16,385	5,375	32.3	665.14
21年3月期	17,295	6,013	34.3	745.35

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 5,288百万円 21年3月期 5,926百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	13.00	13.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	—	—

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

平成22年3月期の配当は未定であります。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,345	6.5	△950	—	△737	—	△830	—	△104.45

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 有

(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	7,952,550株	21年3月期	7,952,550株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	977株	21年3月期	977株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	7,951,573株	21年3月期第2四半期	7,949,079株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項は、4ページ【定性的情報・財務諸表】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の売上高は4,485百万円、経常損失501百万円、四半期純損失535百万円となり、売上高につきましては当初見通しを下回って推移いたしました。また、損益面につきましては、コストの抜本的な見直しによる圧縮強化や支出抑制、効率的なオペレーションの向上に努めた結果、経費の大幅削減を果たし、当初予想と比べて大きく改善する結果となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、昨年秋以降続いた世界的な不況が一部地域で底を打ち、企業業績にも下げ止まりの兆しが見え始めてきました。しかし、過去最悪の雇用環境や政局再編により景気先行きが不透明な状況の中、個人消費は引き続き低調に推移いたしました。

このような経済状況のもとで、当社の主要販売先であります調剤薬局を取り巻く環境といたしましては、5月の新型インフルエンザA（H1N1）の国内感染拡大時には、感染地域において感染を避けるため医療機関への「受診抑制」が起こり、調剤薬局にも来局者数の減少傾向が見られました。また、6月には薬事法改正で登録販売者による一部医薬品の販売がスタートし、新規参入による競合の増加や大手企業の提携など、これからの生き残りをかけた競争の激化が予想される厳しい状況でありました。

一方、医薬分業率は平成21年2月の時点で61.2%となっており、引き続き着実に増加しております。また、レセプトオンライン請求につきましては、当初の義務化期限でありました平成21年4月1日以降もレセプトオンライン請求に対して未対応の薬局があることから、オンライン請求対応について一部条件付の猶予措置が検討されております。

以上のような状況の中、調剤薬局向けシステム事業といたしましては、新しいビジネスモデルを伸張させるため、引き続き「Recepty NEXT」の拡販に注力いたしました。また、オンライン請求未対応の薬局につきましてはオンライン請求対応への準備、オンライン請求対応済の薬局についてはオンライン請求業務の運用に関するサポートが優先されました。

また、昨今の景況感から市場の空気は全体的に様子見傾向がうかがえ、設備投資に対して消極的な状況が続いていたため、販売件数は着実に増加しているものの、当第2四半期連結累計期間における販売件数では予定しておりました件数に至りませんでした。

ネットワーク事業といたしましては、国立感染症研究所感染症情報センターと共同研究を行ってまいりました。「感染症流行探知サービス」の利用薬局が着実に広がって、全国で約3,000件に達しております。当第2四半期連結累計期間におきましては、参加薬局数が少ない地域のユーザー薬局へ協力の呼びかけを行い、さらなる探知精度向上に努めてまいりました。

現在のところ、探知状況が翌日に把握できる唯一のシステムとして国立感染症研究所感染症情報センターからは高い評価をいただいております。また、全国で感染が広がっている新型インフルエンザの感染拡大状況の把握にも期待がもたれております。

一方、診療所につきましては、平成22年4月1日以降の段階的なレセプトオンライン請求義務化を控えておりますが、昨今の景況感の中システム導入に向けた動きは鈍く、市場が活性化の動きを見せていない状況のもと、医科システム事業では7月にリリースいたしました「Medical Recepty NEXT」の販売展開を大阪府と兵庫県を中心に行いました。また、システム導入に向けた動きが活性化するときを見据えて引き続き代理店開拓を行いましたが、当第2四半期連結累計期間は、計画件数の導入には至りませんでした。

しかし、「Medical Recepty NEXT」は、月々の使用料金を端末台数分お支払いいただくだけで、医事会計システムに次期リリース予定の電子カルテシステムを無償で機能追加できる点が、市場から非常に好評をいただいております。そのため、市場全体が本格的な導入に向けて動き出すと、大幅な受注増加が期待できる状況であります。

新大阪ブリックビルの入居状況につきましては、テナント事務所は80%、クリニックモールには3クリニックが入居しており、入居テナント増加に向けて引き合い先と交渉を行っております。また、引き続き厳しい状況が続く不動産市況の中、ビル資産の有効活用につきましては慎重に検討を行ってまいります。

調剤薬局事業につきましては、新型インフルエンザA（H1N1）の感染拡大、6月の薬事法改正により厳しい経営環境が続く中、経営体質の強化のため、社内体制の見直しや研修センターの新設による教育体制の拡充を行いました結果、堅調に推移し、当第2四半期連結累計期間の業績といたしましては、当初計画を上回って推移いたしました。

その他の事業につきましては、スポーツジム「LASANTE」、保育園「LaLa Kids」とともに、売上高、利益ともに微増ではありますが順調に推移しております。スポーツジムは個々のレベルや求める内容に合わせた多彩なトレーニングプログラム、保育園は園児ひとりひとりの成長過程に合わせて細かく保育内容を変えていくパーソナル対応へのこだわりをご評価いただいたものと捕らえまして、今後も引き続き各サービスの特長をさらに磨き、より質の高いサービスを提供してまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第2四半期末における総資産は、未収還付法人税等及び繰延税金資産の減少、減価償却累計額の増加により、前期末に比べ910百万円の減少となりました。

負債につきましては、長期借入金の減少により、前期末に比べ272百万円の減少となりました。

純資産は、利益剰余金の減少により、前期末に比べ637百万円の減少となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

昨年秋以降続いた世界的な不況は一部地域で回復しつつあり、国内の企業業績にも下げ止まりの傾向が出始めておりますが、個人消費につきましては過去最悪の雇用環境が依然として続いており、未だ回復の兆しが見えない状態が続いております。

このような経済状況の中、当社グループの主力事業であります調剤薬局向けシステム事業といたしましては、第2四半期まで市場環境が回復することはありませんでした。また、薬価法改正需要のある第3四半期以降につきましては、政権交代に伴う不透明感から引き続き市場環境の大きな回復は見込まれないことが予想されます。

そのため、単体業績の売上高につきましては当初予想を下回る見通しですが、上半期に行ったコストの見直しや効率的なオペレーションの向上に加え、さらに踏み込んだ経費削減を行うことにより、損益面につきましては当初予想とほぼ変わらない見込みであります。

連結業績につきましては、損益面において、子会社の株式会社祥漢堂並びに株式会社ラソソテが堅調に推移していることから、当初予想を若干上回る見通しであり、平成21年11月6日に発表いたしました「業績予想（連結・単体）の修正について」の通り、売上高9,345百万円、営業損失950百万円、経常損失737百万円、当期純損失830百万円と業績予想修正をしております。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。なお、法人税等調整額は法人税等に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

表示方法の変更

(四半期連結損益計算書)

前第2四半期連結累計期間において、営業外収益に区分掲記しておりました「受取地代家賃」は、投資不動産に係る収益の明瞭性を高めるため、当第2四半期連結累計期間より「不動産賃貸収入」として表示しております。

また、前第2四半期連結累計期間において、営業外費用に区分掲記しておりました「減価償却費」は、投資不動産に係る費用が新たに発生したことに伴い、明瞭性を高めるため、当第2四半期連結累計期間より「不動産賃貸費用」として表示しております。

なお、当第2四半期連結累計期間の「不動産賃貸費用」に含まれる「減価償却費」の金額は199,833千円であります。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	602,236	958,362
受取手形及び売掛金	1,663,548	1,784,888
商品及び製品	213,068	222,227
原材料及び貯蔵品	9,474	9,631
その他	404,803	463,075
貸倒引当金	△883	△899
流動資産合計	2,892,247	3,437,285
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,534,490	1,591,604
土地	819,030	819,030
リース資産（純額）	45,960	37,577
その他（純額）	310,719	375,402
有形固定資産合計	2,710,201	2,823,614
無形固定資産		
ソフトウェア	902,146	916,711
リース資産	6,953	7,740
その他	5,918	5,918
無形固定資産合計	915,018	930,370
投資その他の資産		
投資不動産（純額）	9,221,581	9,483,067
その他	646,933	621,950
貸倒引当金	△331	△414
投資その他の資産合計	9,868,183	10,104,603
固定資産合計	13,493,403	13,858,588
資産合計	16,385,651	17,295,874
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	664,218	750,637
短期借入金	872,400	460,000
1年内返済予定の長期借入金	480,000	480,000
未払金	313,167	522,292
リース債務	23,808	17,799
未払法人税等	39,165	19,388
賞与引当金	146,652	277,406
その他	729,186	833,145
流動負債合計	3,268,599	3,360,670

(単位：千円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
固定負債		
長期借入金	6,496,000	6,736,000
リース債務	31,960	30,063
退職給付引当金	246,571	224,649
役員退職慰労引当金	3,519	3,037
製品保証引当金	248,408	231,281
長期預り保証金	612,990	612,927
長期末払金	37,133	18,969
その他	64,858	64,858
固定負債合計	7,741,443	7,921,788
負債合計	11,010,043	11,282,458
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,579,926	1,579,926
資本剰余金	1,551,031	1,551,031
利益剰余金	2,158,778	2,797,752
自己株式	△712	△712
株主資本合計	5,289,024	5,927,998
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△136	△1,302
評価・換算差額等合計	△136	△1,302
新株予約権	86,720	86,720
純資産合計	5,375,608	6,013,416
負債純資産合計	16,385,651	17,295,874

(2) 四半期連結損益計算書
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	4,423,964	4,485,522
売上原価	2,437,802	2,793,804
売上総利益	1,986,161	1,691,718
販売費及び一般管理費	2,687,528	2,318,664
営業損失(△)	△701,367	△626,946
営業外収益		
受取利息	956	535
受取配当金	146	77
受取地代家賃	279,364	—
不動産賃貸収入	—	442,072
その他	12,011	13,149
営業外収益合計	292,479	455,834
営業外費用		
支払利息	35,406	50,648
支払手数料	—	2,411
減価償却費	230,038	—
不動産賃貸費用	—	271,176
その他	4,211	5,834
営業外費用合計	269,655	330,070
経常損失(△)	△678,543	△501,182
特別利益		
貸倒引当金戻入額	2,149	23
補助金収入	46,202	—
特別利益合計	48,351	23
特別損失		
固定資産除却損	10,772	657
特別損失合計	10,772	657
税金等調整前四半期純損失(△)	△640,964	△501,816
法人税等	△251,209	33,786
四半期純損失(△)	△389,754	△535,603

(第2四半期連結会計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
売上高	2,452,609	2,358,381
売上原価	1,281,713	1,425,514
売上総利益	1,170,895	932,867
販売費及び一般管理費	1,274,189	1,094,696
営業損失(△)	△103,293	△161,829
営業外収益		
受取利息	635	262
受取地代家賃	178,014	—
不動産賃貸収入	—	221,368
その他	2,001	9,435
営業外収益合計	180,651	231,066
営業外費用		
支払利息	16,457	25,117
減価償却費	115,089	—
不動産賃貸費用	—	135,235
その他	1,455	3,676
営業外費用合計	133,002	164,030
経常損失(△)	△55,644	△94,793
特別利益		
貸倒引当金戻入額	789	—
賞与引当金戻入額	—	7,326
補助金収入	46,202	—
特別利益合計	46,991	7,326
特別損失		
固定資産除却損	317	441
特別損失合計	317	441
税金等調整前四半期純損失(△)	△8,970	△87,908
法人税等	△5,743	18,947
四半期純損失(△)	△3,227	△106,856

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。